

# 平成30年度小野町消防団春季検閲式

小野町消防団春季検閲式が4月22日、小野運動公園多目的グラウンドで行われました。

統監である町長の検閲開始の号令の後、ラッパ隊、第1～3中隊、車輛隊の順で通常点検を受け、参加団員と全車両による分列行進が行われました。

続いて、分団対抗の小隊訓練が行われ、優勝の緑川杯には第5分団、準優勝の吉沢杯には第3分団が選ばれました。各分団とも、指揮者の号令に合わせ約20人の団員による小隊が、きびきびした動きを披露しました。

町長からの講評訓示では「日頃からの警戒活動や災害の応急対応などの懸命な活動に対し感謝申し上げます」とも

に、今後とも機材器具の点検整備を怠らず、技術の練磨に精進されるよう期待します」と激励のことがありました。

また昨年度、和名田ポンプ置場と浮金地内防火水槽の施設用地として、貴重な土地を町にご寄付いただいた吉田海子さん(和名田)、石井一さん(浮金)へ感謝状の贈呈が行われました。併せて本年3月31日付けで退団された消防団幹部へ感謝状の贈呈も行われ、前副団長の郡司一さんが代表で受領しました。

検閲式には、こまち女性消防隊も参加し、通常点検や規律訓練の終了後、正副隊長以外の隊員が町内2カ所の商業施設敷地に移動し、火災予防の啓発活動が行われました。



1 統監から通常点検を受ける団員  
2 規律訓練の様子



消防施設敷地ご寄附に対する感謝状贈呈者

吉田 海子さん(大字和名田字中落合地内 ポンプ置場敷地)
石井 一さん(大字浮金字宇東地内 防火水槽敷地)

退職消防団消防庁長官表彰(銀杯)受賞者(敬称略)

階 級	氏 名	行 政 区
前訓練分団分団長	榊原 泰男	谷 津 作
前第1分団分団長	長谷川 政行	本 町
前第2分団分団長	森田 純一	平 館
前第5分団分団長	先崎 真弥	吉 野 辺
前第6分団分団長	永山 一恵	夏 井
前第6分団副分団長	大竹 美博	夏 井
元第3分団1班班長	草野 和也	小野赤沼
元第3分団3班班長	吉田 貞	雁 股 田
元第7分団3班班長	西牧 秀一	上羽出庭
元第7分団4班班長	山形 健一	和 名 田
元第1分団3班副班長	折笠 顕一	横 町
元第4分団4班副班長	國分 正勝	飯 豊 下
元第6分団2班団員	味原 広一	夏 井

退職消防団幹部感謝状贈呈者(敬称略)

階 級	氏 名	行 政 区
前本部副団長	郡 司 一	平 館
元第1分団分団長	根 本 幸浩	仲 町
元第7分団分団長	上遠野 芳勝	和 名 田
前第2分団3班班長	穴 戸 毅	平 館
元第1分団2班班長	佐 藤 敏之	中 通
元第1分団2班班長	櫛 田 晃祐	中 通
元第4分団1班班長	草 野 正人	飯 豊 上
元第4分団2班班長	會 田 勝宏	飯 豊 上

# 平成30年度小野町消防団辞令交付式

小野町消防団辞令交付式が4月1日、勤労青少年ホームで行われ、渡邊団長から退団者13人、昇格者36人、入団者7人の各団員に辞令書が交付されました。

3月31日付けをもって退団された皆さんには、長年のご尽力に感謝申し上げます。

また昇格、入団された消防団員の皆さんには、今後とも町の安全安心のためご活躍いただきますようご期待申し上げます。

小野町消防団幹部(敬称略)

	役 職	氏 名	行 政 区
本 部	団 長	渡邊 一雄	中 通
	副 団 長	須藤 昭雄	本 町
訓 練 分 団	分 団 長	横田 巧	湯 沢
		吉田 重成	飯 豊 上
		吉田 寛	上羽出庭
	副 分 団 長	先崎 宏之	中 通
		二瓶 一芳	上羽出庭
		大和田 忍	浮 金
庶 務 分 団	分 団 長	草野 政氏	塩庭一区
	副 分 団 長	宗像 勇吉	菖 蒲 谷
		國分 健広	小 戸 神



辞令書を受け取る横田副団長

	役 職	氏 名	行 政 区
第 1 分 団	分 団 長	先崎 裕一	大 八
	副 分 団 長	水野 勝己	仲 町
第 2 分 団	分 団 長	西山 英一	平 館
	副 分 団 長	遠藤 一彦	中 通
第 3 分 団	分 団 長	吉田 勇一	小野山神
	副 分 団 長	蓬田 洋	皮 籠 石
第 4 分 団	分 団 長	小山 慎司	小 戸 神
	副 分 団 長	村上 正弘	飯 豊 下
第 5 分 団	分 団 長	佐藤 正和	浮 金
	副 分 団 長	先崎 大輔	吉 野 辺
第 6 分 団	分 団 長	今泉 幸也	夏 井
	副 分 団 長	吉田 茂	夏 井
第 7 分 団	分 団 長	吉田 正宏	塩庭二区
	副 分 団 長	草野 隼人	塩庭一区